

しまね労連  
定期大会

### 要求の一致点で力あわせよう

### 尾村県議が連帯あいさつ

しまね労連第31回定期大会が5日、松江市で開かれ、安倍9条改憲阻止、全国一律最低賃金の



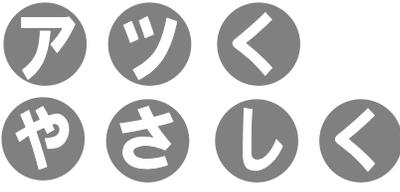
創設、原発再稼働ストップなどの運動方針を採択しました。  
日本共産党の尾村利成県議が連帯あいさつし、安倍政権が国民の強い反対と危惧の声を無視して消費税10%増税を強行したことにふれ、「景気回復や暮らしの安定、貧困と格差をただすためにも、消費税減税と一体に労働者の賃上げと暮らしを応援する政治へ転換しよう」と訴え。「国政でも県政でも要求の一致点で

### 野党連合政権こそ「レスキュー隊」

政治家とはリーダーではない。民主主義における指導者は我々国民。彼らは公僕であり、彼らが果たすべきはリ



大平よしのぶ 前衆議院議員



「レスキュー隊」と聞いてすぐに思い浮かぶのは、先日の台風15号による千葉県などの甚大な被害です。あの残暑厳しい中で停電が続くことは命にもかかわる重大な危険をもたらす。屋根が吹き飛び、その上に毎週のように雨が降る中で住居の2次被害も広がりかねないことなど、誰が見ても国をあげた迅速な手立てが必

心ひとつに力を合わせましょう」と呼びかけました。(写真)

### 「原発ゼロだ」「今すぐゼロだ」

### 278回目の金曜日行動

松江市の県庁前で、278回目の金曜日行動が



一候補としてたたかっていた中林佳子元衆議院議員が支援への感謝を述べました。  
「原発ゼロだ、今すぐゼロだ」「日本海を守れ」とコールしながら、中国電力島根支社までパレードしました。  
リレートークでは13人が次々に発言。「(東京電力)福島(第1)原発事故の被災地を見てきました。まったく復興しておらず、現状は厳しい。原発は即ゼロにすべきだ

要で、文字通り「レスキュー隊の役割」が求められていたことは明らかでした。しかし、安倍政権はといえば、改造内閣のお披露目に明け暮れ、災害対応の初動が大きく遅れるとともに、今もって対策本部の設置すらしていないというお粗末すぎる姿勢が露呈しています。  
思い起こすのは1年前、西日本豪雨災害の際、「赤坂自民亭」と称した宴会に明け暮れていた自民党。その様子を最初にツイッターに投稿したのが、今回初入閣となった西村康稔経済再生担当大臣といえます。すから、改造しても改造しても、この政権の国民そっちらと引き継がれて

いるようです。なにせ、首相自身が千葉県よりもラグビー観戦を優先するような人ですから無理もありませんね。  
国会論戦が始まる前からすでに破たんが明らか。この政権はやっぱり退陣に追い込む以外にありません。それに替わるのが野党連合政権です。「膨張する防衛予算を精査し、国民生活の安全に振り向ける」「生活を底上げする経済、社会保障政策を確立し、貧困・格差を解消する」「子ども、若者が健やかに育ち、学び、働くことを可能とする予算の拡充」(13項目の「共通政策」より)など、すでに国民の「レスキュー隊」そのものです。  
(9月24日付)

と痛感しました。「住民の大多数は原発に反対。国いいなりの松浦市長に対し、引き続き反対の意思を示したい」「関西電力の金銭問題には本当に腹が立つ。中国電力も疑って

### しまね労連の村上一議

### 長、日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議、民青同盟の吉井安見県委員長が参加しました。

しまね労連の村上一議長、日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議、民青同盟の吉井安見県委員長が参加しました。  
【囲碁】  
A級 井上礼二  
B級 内田達夫  
【将棋】  
A級 熱田駿  
B級 斉藤太一

いわさきちひろ生誕100年 前進座公演  
ちひろ -私、絵と結婚するの-  
10月16日(水) 島根県民会館 中ホール  
●開演 14:00 (開場 13:30) / 開演 18:30 (開場 18:00)  
●料金 (全席自由) 一般 5,000円、中学生以上 3,000円  
主催: 前進座『ちひろ』松江公演を観る会  
\*チケットは、党県委員会でも取り扱っています。

### 地域の話題



### 保育の質・量の確保を

### 川西議員が質問

川西議員「幼児教育・保育の幼保無償化」は、教育・子育てという切実な願いを逆手に取り、消費税増税と引き替えに行うものだ。「保護者と保育関係者の安心・安全な保育を」という願いに応えるためには、保育の質・量を確保しながら、町独自に低所得世帯への対策を講じるべきではないか。

勝田町長「(給食の)副食費は実費徴収となり、低所得層には負担増となる。新たな負担増が生じないよう、軽減策を取り、子育て支援を行っていく。」  
(奥出雲町民報・2019)

### 核兵器なくそう

### 原爆パネル展

新日本婦人の会大田支部は、原爆パネル展を7月29日〜8月2日まで大田市役所ロビーで、仁摩図書館では8月4日〜16日まで開催しました。  
仁摩図書館では、昨年に続いて2回目の共催で、パネル展示とあわせて、原爆の実相を伝える本や絵本、戦争の悲惨さや「平和ってどんなこと?」を考えさせる絵本などを展示・貸し出しました。

市役所での展示は30年を超えました。来庁された市民の方や市職員の方々がパネルの解説を

### 生活交通の充実を

### 多田議員が追及

多田議員「生活交通の充実を求める声は大きい。運行中の生活バスの利用状況は悪い。なぜか。課長―新規路線以外は大半の路線で利用者数・運賃収入とも減少している。沿線人口の減少などの影響もあり、厳しい状況。多田議員―4月から桜江町の長谷里山づくり協議会が長谷川戸間なら、どこでも乗降できる相乗りタクシーを運行しているが、利用状況は。課長―4〜7月で18日運行し利用は23人。7月は利用者が10人に伸びた。」  
(「うつつ民報」より)

みながら一枚一枚丁寧に見入る姿がありました。  
(「大田民報」より)